

## おまけシリーズ

### 「ガーディアンの気持ち」ならぬ「私の独り旅日記」→第3回

今回は昨年4月11日から14日に福島、秋田、青森へ行った独り旅の日記です。

JR 東日本4日間、新幹線、特急、ローカル線など乗り放題15270円と

いう格安切符での旅です。

1) 初日4月11日は我が家を6時に出て、二宮→東京駅、東京から秋田新幹線

「やまびこ」で先ず、郡山まで行きました。(少し風邪気味だったので東京駅の売店で  
かぜ薬を買いました。我ながら結構慎重です。(笑)

郡山で乗り継ぎの時間があったので駅の観光の看板を見ていたら「三春の滝桜」の案  
内があり、行ってみたいとなりましたが乗り継ぎ時間に間に合わないことが分かり、あ  
きらめました。(この辺は誠に適当です。)

郡山から猪苗代湖に行きました。この日の宿は知人から頂いた猪苗代湖の奥にあるグ  
ランデコ猪苗代というゴルフ場の中にある豪華?ホテルでした。

猪苗代湖駅の観光案内に「野口英世記念館」がすぐ目に入り、「そうだここに行ってみ  
よう」決断して行ってみました。野口英世の生家に隣接して記念館がありました。

彼の伝記は小学校のころ読んだ記憶がありましたがほとんど覚えていなかったのでゆ  
っくり見学出来てよかったです。野口英世のことは皆さんよくご存じと思いますので  
省略しますが、今の千円札の肖像は野口英世ですね。

グランデコ猪苗代ホテルは猪苗代湖の山奥の方にあり4月半ばでしたがまだ雪景色で  
真冬でした。

2) 第2日目、12日はバスで田沢湖から乳頭温泉に向かいました。乳頭温泉は昔

からある有名な温泉で「秘湯の湯」です。学生時代に山の帰りに立ち寄った温泉でし  
たがすっかり忘れていました。素晴らしい硫黄の温泉でした。田沢湖から、かなり山  
の中に入りましたので、辺りはまだまだ雪が沢山あり真冬の寒さでした。ホテルは家  
族でやっているような宿でとてもアットホームな感じでした。ホテルは結構混んでい  
てこんな季節でも温泉が好きな日本人が多いということを改めて感じ、新型コロナの  
ことをしばし忘れて、日本に生まれてよかったと実感したひと時でした。

3) 第3日目、13日は田沢湖から秋田へ、そして五能線でウエスパ椿山という駅から不老不死（ふろうふし）温泉に向かいます。

田沢湖で少し観光をしようと宿を早く出たのですが、まだ観光シーズンでないためか？遊覧船も湖を周遊するバスもなく、寒さの中を歩いていると秋田犬を見せてくれる建物を見つけて純粋の秋田犬をしばらく見ていました。犬好きな私としては寒さも忘れてずっと見ていたい気持ちでした。バスで田沢湖駅に出て秋田へ。そこから五能線（実際は五能線というのは秋田県の能代⇄青森県の五所川原間です）この五能線というのは日本海に沿って走る有名な観光列車です。私はこの列車に乗るのは2回目ですが、とくに金曜、土曜、日曜日は「リゾートしらかみ」という特別列車があり特に海岸線の景色の良いところは列車をゆっくり走らせるJRとしては粹な計らいです。更にこの日は列車内で津軽三味線のライブがあり、少ない乗客と共に思いがけず、列車ライブを堪能しました。

私はこの後も五能線に乗ることになりますが、もしかすると1番好きな路線かもしれません。そして不老不死温泉の露天風呂は海岸にあり、雪の中に入る温泉も忘れられません。皆さんにも五能線と共に不老不死温泉はお勧めです。

4) 第4日目、14日は青森に出て、新青森から新幹線「はやぶさ」に乗って帰ってきました。今回も東北はまだまだ寒かったのですが天候にも恵まれて楽しい独り旅が出来ました。

米 ここで、「秘湯の温泉」について少し述べておきます。

「日本の秘湯」という本がありまして、箱根や草津温泉のような所謂有名で豪華なホテルのある温泉でなく、山奥の辺鄙なところにあり、割と小さなホテルや旅館が多いです。従って露天風呂などは未だに混浴があるような温泉のようです。また昔あった湯治場のような温泉が今も沢山あります。

「日本秘湯を守る会」という協会があり、全国に148軒あり主に中部地方、北陸そして東北や北海道に多くあります。だから私はどうしても東北や北海道の「秘湯温泉」を求めてゆくことが多いのです。因みに神奈川県には「秘湯の温泉」は1軒もありません。

(by テツ&ゴン)